

# 春秋座―能と狂言 関連企画レクチャー

主催・お問合せ：京都芸術大学舞台芸術研究センター TEL075-79119437  
助成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）  
独立行政法人日本芸術文化振興会

# “早世の天才” 観世十郎元雅の生涯と作風

世阿弥には、十郎元雅（もとまさ）という後継者がいました。元雅は、父世阿弥をして「祖父（観阿弥）にも越えたる堪能」と言わしめた才能の持ち主でしたが、永享四年（一四三二）に、三十代前半という役者としての「盛りの極み」の時期に、父世阿弥に先立って伊勢で客死した悲運の役者です（客死の原因は不明です）。その元雅がどのような役者だったか具体的なことは不明ですが、役者としての才能が並のものでなかったことは、なによりも右の世阿弥の発言によく示されています。一方、能の作者としての元雅の力量は、現在も上演されている『隅田川』『弱法師』『盛久』『歌占』という元雅作の能によって知ることができます。その特色を一言で言うならば、父世阿弥とはまったく異なる能をめざした「天才」というのがふさわしいように思います。このレクチャーでは、早世した天才役者の生涯を概観し、その作になる能の特色、作風についてお話しする予定です。（天野文雄）



講師

天野文雄

京都芸術大学 舞台芸術研究センター 特別教授

昭和二年、東京生まれ。京都芸術大学舞台芸術研究センター特別教授。大阪大学名誉教授。著書に、『翁猿楽研究』（平成七年、和泉書院。観世寿夫記念法政大学能楽賞）、『能に憑かれた権力者―秀吉能楽愛好記』（平成九年、講談社選書メチエ）、『現代能楽講義―能と狂言の魅力と歴史についての十講』（平成一六年、大阪大学出版会）、『世阿弥がいた場所―大成期の能と能役者をめぐる環境』（平成一九年、ペリカン社、日本演劇学会河竹賞）、『能苑逍遙（上）世阿弥を歩く』『能苑逍遙（中）能という演劇を歩く』『能苑逍遙（下）能の歴史を歩く』（平成二一年～二二年、大阪大学出版会）、『能楽名作選（上下）』（平成二九年、角川書店）、『能楽手帖』（令和元年、角川ソフィア文庫）、共著に、『岩波講座能・狂言―能楽の歴史』（昭和六二年、表章氏と）、共編著に『能を読む』全4巻（平成二五年、角川学芸出版）などがある。

2023年

1月16日（月）

17時～（18時30分終了予定）

会場：京都芸術大学人間館1階  
NA102教室

◆先着50名（参加費無料）

◆要事前申込

受付開始 12月5日（月）10時

※当日席に余裕があるときは申込無しでもご参加も可能です。

◆お申込先

・京都芸術劇場チケットセンター  
窓口又は電話 TEL075-79118240  
（平日10時～17時）  
・お申込WEBフォーム

フォームはこちら

